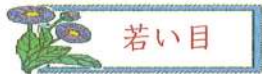


郷 俣

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

☆ 創作の軌跡 11 ☆

自分を変えることは難しいことです。でも「変えたいなあ」という気持ちをもっていると、自分の身のまわりで起こること全てに、変わるきっかけがあることが分かりますね。



若い目

やって良かった
水増 宏征

僕は、今年、運動会のリーダーになりました。最初は、絶対になりたくないと思っていました。でも運動会を終えた今、やって良かったと心から思っています。

夏休み、団長やリーダーが集まって、応援のダンスの曲を話し合い、最終的には、「RYUSEI」に決まりました。その次の日から、さっそく練習が始まりました。リーダーは完璧に覚えて、団員のみんなに指導しなければならぬからです。最初のうちは、みんな全く踊れなかったけど、練習を重ねていくうちに、団結力が高まってきました。

本番がやってきました。最初からエンジン全開で、盛り上がっていました。緊張も全くせず、自分の踊りを踊ることができました。運動会が成功し、僕はリーダーをやったことに良かったなと思えました。これからは、何事にも挑戦していきたいです。

声出せなかった
中間 大洋

10月3日、新チームになり、初めての中学体育大会がありました。ぼくは、この大会での反省が二つあります。

一つ目は、コンビネーションが合わなかったことです。ぼくは、セッターとして試合に出場しました。練習では、できていたコンビネーションが試合では声が出ず、コンビミスが多くなりました。次の練習から、セッターとスパイカーが声を出し合い、きれいなコンビネーションを決めたいです。

二つ目は、チームで声が出なかったことです。得点を取ったときに声が出ませんでした。声を出せば、チームの士気も上がり、流れが変わるのに分かっていながら、声を出すことができませんでした。練習から、声を出すことを意識して、勝利をつかみ取りたいです。

この二つの反省を含めて、次の練習からは、一分一秒を無駄にせずがんばりたいです。



黒木清次文学碑祭

旧須木村で生まれ、数々の詩や小説を書き、芥川賞候補や上海文学賞・県文化賞を受賞された、黒木清次さんの文学碑が須木にあります。毎年、その文学碑祭があり、今年で25回を数えます。応募された多くの作品の中から、岩井さんが小林市長賞、田尻さんが優秀賞を受賞しました。

<p>梅雨 田尻 波瑠佳</p> <p>窓の外 大きな桜 青い葉っぱ しずくをたらして 立っている</p> <p>窓の外 大きな空 灰色に染まる どこまでもどこまでも 広がっている</p> <p>窓の外 大きな川 茶色に変わる 木々をなぎたおし あばれている</p> <p>窓の外 いろいろな梅雨の顔 見えてくる</p>	<p>時間 岩井 めいな</p> <p>部屋を片づけていると ピラリ 写真が落ちてきた その写真には六年生の時にクラス全員でとった 一年前の写真</p> <p>写真の中のみんなは まだほんの少し幼く見えて 今の自分たちと違うと感じた</p> <p>なぜたった一年で 周りが変わってしまったのだろう なぜ少しの間で みんな変わってしまったのだろう</p> <p>今は別の中学校に行った友達も写っている その時一しゅん周りが止まったように感じた 自分だけが変わってないときさみしくなった</p> <p>この先いろんなことが起きてくる 今は考えられないことも起きるだろう でも でもそれを取りこえて大人になる 私は未来へつき進む</p>
--	---